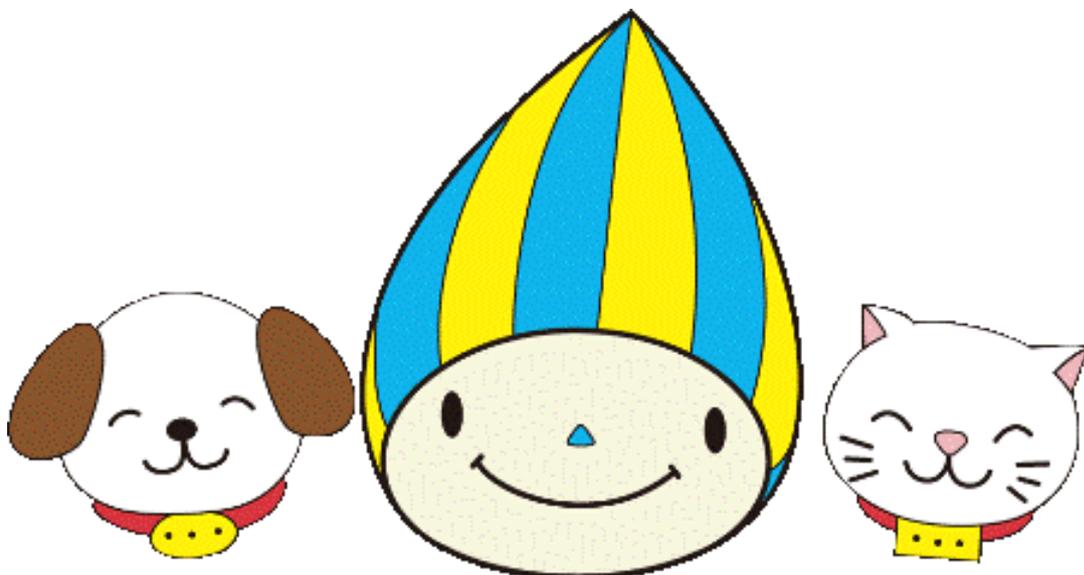




平成26年度

動物愛護センター
野生鳥獣リハビリセンター
事業概要



動物愛護ミナモ

岐阜県

目次

第1 概要

1	沿革	1
2	施設の概要	1
3	組織及び職員数	5

第2 事業の実施状況

1	動物愛護センターの開所	6
2	動物の譲渡の推進	6
3	愛犬のしつけ方教室等の開催	7
4	動物愛護思想の普及啓発	8
5	被災動物の救援	11
6	地域猫モデル事業	12
7	野生鳥獣の保護・リハビリ	12
8	その他資料	13

第1 概要

1 沿革

- 平成25年10月 9日 建設工事着工
- 平成26年 3月14日 庁舎等竣工
- 平成26年 4月23日 開所式



2 施設の概要

- 所在地 岐阜県美濃市片知593番地
- 管轄 県下全域（岐阜市を除く）
- 開館時間
 - ・午前9時30分から午後4時30分まで
 - （毎週火曜日、祝日の翌平日及び12月29日から1月3日を除く）
- 敷地面積 3,455㎡
 - ・美濃市から無償貸与
- 動物愛護センター庁舎
 - 木造スレート葺平屋建 延床面積 324㎡
 - ・事務室 多目的ホール
 - ・飼養管理室
 - 犬：ケージ 5頭分
 - 猫：飼養可能頭数 10頭
 - ・経過観察室
 - 犬：ケージ 5頭分
 - 猫：ケージ 10頭分
 - ・検査室 トリミング室
 - ・車庫 倉庫
 - 公用車（軽貨物1台） 被災動物用テント3張 等

・犬とのマッチングスペース 7.275㎡

・ドックラン 200㎡

総工費 146,079千円

○庁舎写真



○野生鳥獣リハビリセンター

管理棟・飼育小屋 43.69㎡

フライングゲージ 100㎡

総事業費 14,748千円



3 組織及び職員数

○行政組織（平成26年4月1日現在）

所属	部局	主務課	組 織		
			所属長等	課	係
動物愛護センター	健康福祉部	生活衛生課	所長 (獣医師)	動物愛護課長 (所長兼務)	管理調整係 ・事務2名 (うち再任用1名)
					動物愛護係 ・獣医師2名 ・衛生技術員1名 ・非常勤専門職1名 ・雇員1名
野生鳥獣リハビリセンター	環境生活部	自然環境保全課	管理監 (動物愛護センター所長兼務)	—	同上 (動物愛護センター職員兼務)

※ 野生鳥獣リハビリセンター職員は自然環境保全課と兼務

○事務分掌

所属	係等	事務分掌
動物愛護センター	所長	・センターの総括に関する事
	管理調整係	・所内の庶務並びに予算の執行及び会計事務に関する事 ・県有財産及び物品の管理に関する事
	動物愛護係	・犬猫の譲渡に関する事 ・動物愛護思想の普及啓発に関する事 ・災害時における動物の保護に関する事
野生鳥獣リハビリセンター	管理監	・センターの総括に関する事
	管理調整係	・所内の庶務並びに予算の執行及び会計事務に関する事 ・県有財産及び物品の管理に関する事
	動物愛護係	・傷病鳥獣の受け入れ、簡易治療及び飼養に関する事

第2 事業の実施状況

1 動物愛護センターの開所

県ではこれまで保健所で収容した犬・猫を長期飼養し県民の方へ譲渡してきたが、専用施設がなかったため、人と動物が共生する地域社会の実現を目指し動物愛護の拠点として、「収容した犬・猫の譲渡推進」、「動物愛護の普及啓発」、「被災動物の救援」及び「傷病野生鳥獣の保護」を主な機能とする、動物愛護センター・野生鳥獣リハビリセンターを開所した。

○内覧会

開所式前に行政関係者及び地元住民等に対して内覧会を開催した。

実施日：平成26年4月9日～10日

来館者数：210名

○開所式

平成26年4月23日に開所式を開催し、開所式終了後、(公社)岐阜県獣医師会との共催で国際セラピードッグ協会長 大木トオル氏の講演会を開催した。

参列者：107名(知事、県議会議員、地元市長、行政関係者等)

アトラクション：下牧保育園園児による和太鼓

2 犬猫の譲渡の推進

保健所に収容された犬猫の殺処分数を減らすため、保健所に収容された犬猫のうち、選定基準を満たし譲渡に適すると判断された犬猫を動物愛護センターに移送後、新しい飼い主を募集し譲渡した。譲渡した犬猫については、全頭マイクロチップを装着し、可能な犬猫について不妊・去勢手術を行った。

譲渡希望者に飼養方法や動物愛護に関する講習(譲渡前講習)を開催した。猫については、猫の習性や接し方を学ぶため、譲渡前講習の前にふれあい会を開催した。

また、譲渡2～3カ月後に犬猫の体調や飼養状況、犬にあっては飼い犬の登録や狂犬病予防注射の実施状況などアンケートによる譲渡後調査を行った。希望者には飼い方やしつけ方の相談指導を受け付けた。

○動物の譲渡数

種別	受入数	譲渡数(うち不妊・去勢済頭数)
犬	49頭	45頭 (7頭)
猫	68頭 (うち死亡1、返還1)	58頭 (11頭)
計	117頭	103頭 (18頭)

○譲渡前講習実施状況

種 別	実施回数	受講者数
犬	37回	250名
猫	37回	152名
計	74回	402名



譲渡前講習の様子

○猫とのふれあい会実施状況

実施回数 12回 参加者数 119名

3 愛犬のしつけ方教室等の開催

飼い犬のしつけに困っている方を対象にしつけ方教室・相談会を開催した。

○実施回数、受講者数

項目	実施回数	受講者数
職員によるしつけ方相談	13回	100名
外部講師によるしつけ方教室	10回	166名
実施日	講 師	
H26. 5. 3	坂本政子氏 (Dogボランティアクラブ)	
H26. 6. 21	山本研志氏 (トレーナー)	
H26. 8. 16	松本裕美子氏 (JAHAパピーケアスタッフ)	
H26. 9. 7	奥田順之氏 (NPO法人理事長)	

H26. 10. 19	青山徹氏（トレーナー）		
H26. 11. 16	松浦知香氏（JAHA パピーケアスタッフ）		
H26. 12. 7	垂谷智子氏（JAHA インストラクター）		
H27. 1. 18	浅野好恵氏（JAHA パピーケアスタッフ）		
H27. 2. 15	梅村由佳理氏（JAHA インストラクター）		
H27. 3. 8	田中利幸氏（トレーナー）		
計		23回	266名

※ 1回につき5組を限度として開催



外部講師によるしつけ方教室の様子

4 動物愛護思想の普及啓発

○動物愛護教室等の開催

動物愛護思想の普及のため、動物愛護センターにおいて愛護教室等を開催した。

実施日	内容	参加者数
H26. 5. 5	犬について学ぼう （講師：恵那保健所 今尾幸穂氏）	14名
H26. 7. 17	講演：動物と暮らすための工夫について （講師：菅野建築事務所 菅野泰孝氏）	14名
H26. 7. 20	犬のお手入れ教室	9名
H26. 7. 29	愛護教室（愛知県武豊町）	49名

H26. 8. 17	風船で動物をつくろう	13名
H26. 10. 13	動物愛護センターフェスティバル	62名
H26. 11. 22	クイズに答えて粘土で動物を作ろう	18名
H26. 12. 14	クイズに答えてカレンダーを作ろう	3名
H27. 1. 24	クイズに答えてキーホルダーを作ろう	8名
H27. 1. 28	愛護教室（美濃市松美保育園）	33名
H27. 2. 4	愛護教室（美濃市立牧谷小学校）	33名
H27. 2. 22	猫じゃらしを作って、猫と遊ぼう	24名
H27. 3. 22	クイズに答えてゴム粘土で動物を作ろう	11名
計		291名



動物愛護センターフェスティバルの様子

○出前講座の開催

動物愛護思想の普及のため、県内の学校等に赴いて愛護教室を開催した。

実施日	実施校	参加者数
H26. 10. 17	美濃加茂市立西中学校	33名
H26. 10. 23	美濃加茂市富加町中学校組合立 双葉中学校	15名
H27. 1. 26	美濃市下牧保育園	33名
H27. 1. 29	関市立富野小学校	21名
H27. 1. 29	関市立富野中学校	50名
H27. 1. 30	美濃市清泰保育園	78名
H27. 2. 2	美濃加茂市立西中学校	23名
計		253名

○各種イベントでのPR活動

動物愛護思想の普及のため、県内で開催されたイベントに参加し、動物の飼い方などの看板の掲示やリーフレット等を配布した。

実施日	参加イベント
H26. 9. 23	県動物愛護フェスティバル（大垣市）
H26. 11. 8～11. 9	美濃市産業祭（美濃市曾代 美濃市総合運動場）

○インターンシップ及び職場体験学習

動物愛護センターの業務を理解してもらい、かつ動物愛護精神の普及啓発を図るため、インターンシップ及び職場体験学習を実施した。

実施校及び期間	参加者	実習内容
県立大垣養老高校 H26. 6. 15	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物愛護に関する講義 ・ 業務内容の説明 ・ 施設見学
岐阜大学 H26. 8. 21	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容の説明 ・ 施設見学
関市立富野中学校 H26. 10. 1～10. 3	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の清掃補助 ・ 収容動物の飼養補助 ・ 動物愛護に関する講義 ・ あいごせんたーにつき作成



中学生の職場体験学習の様子

○広報

広く動物愛護センターの活動を広く知っていただくため、「動物愛護センターだより」及び「あいごせんたーにつき」を発刊し、ホームページに掲載するとともに地元自治会に配布した。

また、岐阜新聞に月2回「命の架け橋」として、動物愛護センターから譲渡された犬猫の新たな飼い主のコメントと写真を掲載した。さらに平成27年2月、地元タウン誌「きらら」に動物愛護センターの活動状況を掲載した。

- ・ テレビ放映：内覧会及び開所式 NHK及び東海地区民放各局
ぎふ県政ホットライン（ぎふチャン）H26. 5. 18放送
- ・ 新聞掲載：中日新聞、岐阜新聞等

- ・ 広報用リーフレット 5,000枚作成
- ・ 広報用クリアファイル 3,000枚作成
- ・ 広報用ポスター 500枚作成



広報用ポスター

5 被災動物の救援

○啓発及び資材の整備

災害時にペットと非難する際の準備について、譲渡前講習やしつけ方教室等で啓発を行った。また被災動物救援拠点として被災動物用テント（3張）やケージなどの資材を整備した。

○被災動物救援ボランティアリーダーの養成

岐阜県内で大規模な災害が発生した際、被災した犬・猫などの「救護活動」にボランティアとして中心的に活躍していただける方を養成するための講座を開催した。

○被災動物救援ボランティアリーダー養成講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
H26. 7. 27	講演：災害とボランティア活動について (講師：防災士 西田重成氏)	25名
H26. 8. 24	講演：東日本大震災における動物救護ボランティア活動につ	34名

	いて (講師：NPO法人理事長 齋藤文江氏)	
H26. 9. 13	講演：東日本大震災における仙台市の被災動物救護対策の取 り組みと今後の課題 (講師：仙台市動物管理センター所長 亀田由香利氏)	32名
H26. 10. 26	同行避難訓練講習	36名
計	(延べ参加者数)	127名
	災害ボランティアリーダー登録者数(3月末現在)	20名

6 地域猫モデル事業

飼い主のいない猫により生じる地域でのトラブルを解消するため、地域猫モデル事業を推進した。

○実施地域

- ・ 1カ所(中津川市内自治会)

○実施内容

- ・ 自治会からの相談への助言
- ・ 自治会からの申請により地域猫の不妊・去勢手術の実施(10頭)

7 野生鳥獣の保護・リハビリ

けがを負った希少な鳥(オオタカ、ハヤブサなど)の野生復帰のための飼育及び訓練を行った。また岐阜大学や県獣医師会と連携を取り適切な飼養に努めた。

○平成26年度飼養頭数 2羽(ハヤブサ、オオタカ)

8 その他資料

○来館者数(H26. 4. 23~H27. 3. 31)

項 目	人 数
譲渡前講習(前掲)	402名
動物愛護教室(前掲)	291名
愛犬のしつけ方教室(前掲)	266名
インターンシップ・職場体験学習(前掲)	9名
ドックラン利用者	187名
動物及び施設見学者等	2,752名
計	3,907名

○月別犬猫の受入・譲渡数推移 () は不妊・去勢手術済頭数 (内数)

	犬		猫	
	受入	譲渡	受入	譲渡
4月	7	3	8	2
5月	10	7	7	2
6月	0	2	3	6
7月	5	5	11	5
8月	1	1	2	3
9月	0	2	3	6
10月	5	0	13	12
11月	3	1	8	5 (2)
12月	7	6 (2)	4	8 (1)
1月	6	6 (1)	4	3 (2)
2月	4	7 (2)	2	4 (4)
3月	1	5 (2)	3	2 (2)
計	49	45 (7)	68	58 (11)

○譲渡者居住地別譲渡頭数

区分	犬	猫	計
岐阜地区	17	25	42
西濃地区	2	2	4
中濃地区	22	22	44
東濃地区	2	7	9
飛騨地区	1	0	1
県外	1	2	3
計	45	58	103



東海北陸自動車道美濃インターから約10分

長良川鉄道美濃市駅からバス・タクシーで約10分

発行 岐阜県動物愛護センター

〒501-3781 岐阜県美濃市片知593番地

TEL 0575-34-0050 FAX 0575-34-8228

E-MAIL c22515@pref.gifu.lg.jp

HP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/dobutsu-aigo/doubutsu-aigo-center/>